

事業目標

「活動の充実に向けて取り組みを行なう 1 年に」

コロナ禍が明け、少しずつ動き出した 1 年ではありましたが、運営面の課題から、活動を発展させていくことはできませんでした。そのため、事業の継続実施だけでなく、活動の充実にも取り組んでいきたいと思っています。

また、団体設立 25 周年という節目を迎えた年でもありますので、山科醍醐こどものひろばを多くの方とふりかえり、活動の思い出・経験・参加への思いなど、様々なことを共有していきたいと思っています。そこから、次の年度だけでなく、これからの 5 年に向けたビジョンを、みなさんと考えていきたいと思っています。

主に、この 4 項目に 1 年間取り組んでいきます。

1. 子どもの体験活動の充実
2. 45×25 周年事業の実施
3. 運営体制の強化
4. 継続した運営財源の確保

1. 子どもの体験活動の充実

年々、子どもの体験活動が縮小し、現在、わんぱくクラブの活動を残すのみとなっております。昨年からキャンプや町たんけんの活動を再度実施しようという声がありますが、実施まではできませんでした。

今年度は、再度スタッフと実施内容や体制などを検討し、事業立ち上げの支援をしていきます。

2. 45×25 周年事業の実施

前身団体設立から 45 年、山科醍醐こどものひろばとなってから 25 年が経ちました。5 年前である 40×20 周年事業の実施を検討していた時に、ちょうどコロナ禍となり、大きなイベントは実施できなくなりました。あれから 5 年が経ち、感染対策を行ない通常通りのイベントを実施できるようになったため、45×25 周年事業を実施します。その中で、この 10 年間を振り返り、次の 5 年へ向けて考える機会をつくっていきます。

3. 運営体制の強化

昨年度は、事務局の運営体制が変わりました。様々な働き方をする職員が増えたため、情報共有を密に出来るように体制を整えてきましたが、まだまだ十分とはいえません。そのため、引き続き事務局および事業間で情報共有を密にできる体制をつくっていきます。

また、今年度は理事の改選があります。活動を充実させていくと共に、次のビジョンを見据えた役員体制を検討していきます。

4. 継続した運営財源の確保

昨年度同様、さらに赤字額を少なくすることができましたが、黒字決算とはなりません。最低賃金の上昇や物価高騰もあり、全体的に経費が増加傾向にあります。収入の多くを占める委託金の増加はありません。そのため、事業を継続実施するための寄付募集、自主事業収入の強化に取り組めます。

第 27 年度 各事業計画(1)

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	予算額 (千円)
舞 台 芸 術 鑑賞活動	-	-	-	-	-	-
子どもが自 ら創る体験 活動事業	こどもフェスタ 小規模で子どももおとなも楽しみ、 交流できる祭典を実施する。	春頃	山科青少年活動 センター	50人	地域の 子どもと大人 100人	100
	子どもの体験活動事業 子どもたちの体験活動(野外体 験)を実施する。	通年	地域一円	5人	子ども:80人	100
	わんぱくクラブ 幼児・低学年部の子どもたちを対 象に、野外活動などを実施する。	通年	みささぎの森他	5人+ボラン ティア	就園児年少から小 学3年生15人	204
子育てサ ポート事業	げんきスポット0-3(げろさん) 未就園児を持つ親と、その子ども 達のサポートを常設会場「げんき スポット0-3」にて実施する。屋根 のある公園を目指す。 充実事業の委託として げんきス ポット0-3を飛び出して地域の場 での支援を行う。 ※京都市の委託事業	毎週火～土曜日	げんきスポット0- 3	21人 (ボランティア8 人 講師4人)	地域の 子どもと大人 のべ6500人	7278 (委託金7113)
	楽習サポートのびのび 集団活動が苦手な子どもや、学習 機会の少ない子ども、また経済的 等の理由で体験活動の機会がな い子どもへの個別(生活・学習・余 暇)支援事業。	通年	地域一円	-	-	-
	子どもの貧困対策事業 集団活動が苦手な子どもや、学 習機会の少ない子ども、また経済 的等の理由で体験活動の機会が ない子どもへの個別(生活・学習・ 余暇)支援事業。コロナ禍の影響 を受けた家庭に食材・衛生用品の 配布支援も実施する。 ※京都地域創造基金事業指定助 成事業 ※近畿ろうきん「笑顔プラス」寄付	通年	地域一円	30人	地域の子ども: のべ300人	1430 (助成金1200)
	山科醍醐地域ひとり親家庭等へ の生活・学習・居場所サポート事 業 伏見区醍醐・小栗栖地域を中心 に、小学校高学年の子どもとその 家族へのサポートを行う。 ※京都府委託事業	通年	地域一円	30人	子ども: のべ300人 保護者: のべ15人	9400 (委託金9400)
ボランティ アサポー ト事業	ボランティア・研修部 ボランティア希望者の、各事業へ のコーディネートを行なう。 ボランティア活動に参加する際 の、子どもとのかかわり方や、参 加者が希望する内容の研修会を 定期的実施する。	通年	当法人事務所	4人	-	-

第 27 年度 各事業計画(2)

	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 (スタッフの 人数)	対象者の範囲 定員 参加人数	予算額 (千円)
ボランティア サポート 事業	講師派遣・インターンシップ受入 事業 当法人スタッフの講師派遣及び当 法人におけるインターン希望者の 受入を行う。	通年	地域一円	4人	—	500
	のびのび@たいむ のびのび事業の利用を終えた高 校生等の居場所とボランティア推 進事業。	通年	地域一円	2人	20人	—
広報・出版 事業	ひろばつうしん 会員向け情報誌「ひろばつうしん」 の発行。 イベントや活動の参加募集チラ シ、外部団体のチラシなども発 送。	月刊	—	—	150部を12回	—
	コッペパン 広報誌「コッペパン」の発行。	不定期	—	—	—	—
	ひろばの本 「貧困とひとりぼっちのないまち」 「まちのこどもソーシャルワーク」 の頒布を通じて、ひろばの広報や 社会への啓発を進める	通年	—	—	—	—
	サポートBOOK 「子どもの貧困課題に地域で取り 組む支援者のアクションサポート BOOK」の頒布、活用。 読書会の開催。	通年	—	—	—	—
ネットワー クづくり事業	ホームページ 当法人におけるホームページの 定期的な更新情報の発信及び、 基本情報の公開を行う。	通年	—	—	—	—
	分野連携ボランティアネットワーク 事業 当法人登録ボランティアと子ども 分野の活動団体とのネットワー クづくりを行う。	通年	—	—	—	—
	山科子育て応援団 社会福祉協議会を事務所として 山科で子育てサークルや子育て 支援をしている諸団体との交流を 行う。子育て支援サロンを開催す る。	通年	社会福祉協議会 他	—	—	—
	中学生勉強会(おぐりす・だいが ・醍醐支所) 生活保護受給者等中学生学習支 援プログラム。 ※京都市ユースサービス協会委 託事業	通年	醍醐事務所 トハウス 醍醐支所	20人	おぐりす5人 だいが5人 醍醐支所15人	2713 (委託金2713)
	みんなの家 フリースペースとして開放。 (主催: 社会福祉協議会)	第1、第3、第5 月曜日	こども生活支援セ ンター	—	—	—
	ゆうすべすやましな 山科区役所の一角を使用するの フリースペース、自習室の運営 ※京都市ユースサービス協会委 託事業	毎週金曜日	山科区役所	3人	10人	1500 (委託金1500)
	企業との連携 企業からのボランティア体験の受 け入れや、イベントでのボランテ ィア呼びかけなど。	通年	—	—	—	—